

CIGSシンポジウム 『2015年医療・福祉法人制度改革について』

<シンポジウム開催の趣旨>

2015年の第189回国会に提出されている医療法、医療保険法、社会福祉法の改正は、国民生活のセーフティネットである医療・介護・福祉事業体のあり様に大きな構造変化をもたらす改革である。しかし、改正法律案作成のための論点整理の役割を担った厚労省検討会等で審議に混乱が見られたことや積み残された課題も多々あることから、国民はもとより当事者である医療・介護・福祉事業体の経営者の中にも改革内容を正確に理解できていない方々がいる模様である。

そこで、改正法の下で実務を行う第一線の経営者と非営利事業体会計の専門家をお招きし2015年改革の本旨を明らかにする。

<開催概要>

日 時：2015年9月2日（水） 13:00-17:00（受付12:30～）

会 場：経団連会館 2階 経団連ホール（千代田区大手町1-3-2）

<http://www.keidanren-kaikan.jp/map.html>

参加費： 無料 ・ 定 員： 250名

<プログラム>

13:00 - 13:10 理事長挨拶

- ・ 福井俊彦（キヤノングローバル戦略研究所 理事長）

13:10 - 15:10 第一部：講演（4名・各30分） 登壇順

- ・ 松山幸弘（キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹）

「2015年医療・福祉法人制度改革のポイント」

- ・ 森 洋一（公認会計士）

「非営利組織のガバナンスと情報開示～社会福祉法人・医療法人制度を中心に～」

- ・ 山本敏博（社会福祉法人聖隷福祉事業団 理事長）

「聖隷福祉事業団の経営とアメリカ視察からの考察」

- ・ 土屋了介（地方独立行政法人神奈川県立病院機構 理事長）

「神奈川県立病院機構理事長室から見える改革の評価と県の医療政策ビジョン」

15:10 - 15:25 休憩（15分）

15:25 - 16:57 第二部：パネルディスカッション

モデレーター・松山 幸弘（キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹）

16:57 - 17:00 閉会

講演者略歴（五十音順）

土屋 了介

地方独立行政法人神奈川県立病院機構理事長

1970年慶應義塾大学医学部卒業。

日本鋼管病院、国立がんセンター病院、国立療養所松戸病院、防衛医科大学校、国立がんセンター中央病院等にて勤務。Mayo Clinic 留学。

2006年国立がんセンター中央病院 病院長。

2010年財団法人 癌研究会 顧問。

2011年公益財団法人 がん研究会 理事。

2014年地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 理事長。

専門：胸部外科学（特に進行肺癌の手術）、胸部診断学、医療制度論、医学教育論
政府委員等：内閣府規制改革会議専門委員（健康・医療WG）、内閣府特区評価委員、厚生労働省社会保障審議会臨時委員（統計分科会員）

森 洋一

公認会計士

一橋大学経済学部卒業後、監査法人にて会計監査、内部統制、サステナビリティ関連の調査研究・アドバイザー業務を経験。

2007年に独立、企業及び非営利組織の経営や情報開示に関する助言業務に従事しつつ、政策立案支援にも参画。民間財団等の助成審査のアドバイザーや助成先団体のモニタリングも務める。

日本公認会計士協会研究員として組織の情報開示及びガバナンスに関する調査研究に携わるとともに、国際枠組み開発に参画。

山本 敏博

社会福祉法人聖隷福祉事業団理事長

1967年3月静岡薬科大学卒業、同年4月イハラ農薬株式会社中央研究所、

1968年8月社会福祉法人 聖隷保養園（1973年聖隷福祉事業団と改称）聖隷浜松病院薬剤部勤務。2000年9月同施設理事長就任。

公益財団法人ニッセイ聖隷健康福祉財団会長、一般財団法人芙蓉協会 理事長、一般財団法人患愛会 理事長、医療法人聖愛会 常務理事、学校法人聖隷学園 理事など兼務。

松山 幸弘

キヤノングローバル戦略研究所研究主幹

1975年3月東京大学経済学部経営学科卒業、1992年2月著作「米国の医療経済」で九州大学から経済学博士号取得。1975年4月～1999年3月生命保険会社に勤務。その後富士通総研経済研究所主席研究員、民間医療法人専務理事、総合病院国保旭中央病院顧問等を経て、2009年4月よりキヤノングローバル戦略研究所主席研究員。2011年1月より現職。内閣府規制改革会議健康・医療ワーキンググループ専門委員、社会保障審議会福祉部会委員。